



新年度を迎えて

校長 野上 正嗣

はじめて辻小学校を訪れたとき、校庭の桜が見事に咲き誇り、子どもたちに「がんばれ」とエールを送っているように感じました。私は、4月1日より、宮城 裕毅校長先生の後任として、辻小学校の第19代校長として着任いたしました野上 正嗣（のがみ まさつぐ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。教職員一同、心より、お祝い申し上げます。また、4月3日には悪天候にもかかわらず、新6年生が新年度の準備作業に登校し、最高学年として初めての仕事を、しっかりと責任をもってやってくれました。その姿が大変頼もしく、これからの1年間がととても楽しみです。ご苦勞様でした。

さて、83名の新1年生を迎え、児童数569名、通常の学級19学級、特別支援学級2学級、教職員数45名で令和7年度をスタートいたしました。これまで同様、保護者と地域の方々の願いを大切に、地域に根ざした信頼される学校を目指してまいります。子どもは、学校だけでは育ちません。保護者の愛情溢れるかかわりが、子どもの心の安定となります。地域の方々との行事や活動を通してのかかわりが、子どもの心に潤いをもたらします。人から教えてもらったことが力となり、人から褒めてもらったことが自信となる。これが、子どもの学びに向かう力になると考えます。

学校教育目標の具現化に向けて、全教職員がチームワークを大切に、互いを認め、協力し合い、一丸となって日々の教育活動に取り組んでまいります。引き続き、本校への変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

《学校教育目標》

『豊かな心を持ち、実践力のある子』の育成

- かしこく（知）：進んで学び表現する子（やる気いっぱい）
- なかよく（徳）：明るく思いやりのある子（元気いっぱい）
- たくましく（体）：気力・体力の充実した子（汗いっぱい）

【めざす学校像】

『愛情と信頼に支えられた、夢と希望をはぐくむ学校』

【めざす子ども像】

『光るあせ かがやくひとみの 辻っ子』児童スローガン
～やる気いっぱい 笑顔いっぱい 汗いっぱい～

【めざす教職員像】

『子ども達がいて 地域・保護者があり 私たち（教職員）がいる』

《学校経営方針》

- 子どもに寄り添い、気づき、認め、褒めて育てる教育の推進